

技術概要書（様式）

※別紙2

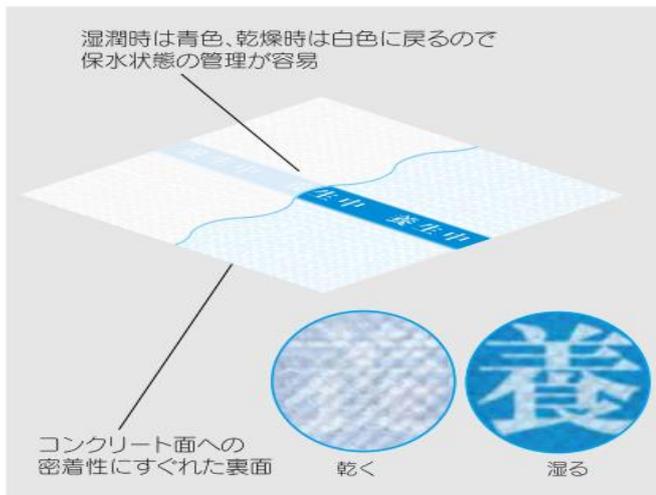
技術分類	安全・防災 維持管理 環境 コスト ICT <b>品質</b> (該当分類に○を付記)											
技術名称	コンマット1号-A	担当部署	開発部開発課									
NETIS登録番号	CG-090027-VE	担当者	武延 芳治									
社名等	アオイ化学工業(株)	電話番号	082-877-1341									
技術の概要	<p>1. 技術開発の背景及び契機</p> <p>コンクリート舗装などの構造物の耐久性は、硬化の過程での湿潤養生が重要な為、望ましい硬化特性を得るために必要とされる十分な水分を維持する目的で定期的に散水しなければなりません。その為現在は、湿潤養生用マットで、散水を行い湿潤環境を確保しています。しかしながら、見た目でマットが湿潤をしているかどうか判断できず、散水タイミングが非常にわかりにくいため、散水の頻度が多くなっておりました。本製品は、標準として3mごとに縫いこまれた吸水変色性シートによって水分を含むと変色するようになっており、定期的に行う散水タイミングを可視化して分かり易くしています。</p> <p>2. 技術の内容</p> <p>従来は、湿潤状況を触ったりして確認したり、または経験者が目視等で確認していたり、常時湿潤状態にするために、過剰に散水するケースが多くありましたが、養生マットに幅8cmの吸水変色性シートを縫いこむことにより、マットの含水状況を可視化させることが出来、誰からも分かり易くなっています。また素材自体は、従来より多く用いられている不織布マットで、吸水性も良く、コンクリート養生に対しても十分な能力を持っております。</p> <p>3. 技術の効果</p> <p>散水タイミングを可視化出来るようになったため、養生マットの湿潤状況が非経験者でも目視で確認することが可能となり、養生マットの湿潤状況に応じた散水タイミングが容易に判断することが可能です。また、散水タイミングがわかりやすくなったため、過剰量の散水をする必要がなく環境にも優しい製品です。</p> <p>4. 技術の適用範囲</p> <p>適用範囲としては</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コンクリート構造物一般。但し、壁面の鉛直面には適用不可。</li> <li>・水平面から傾斜勾配約10%以内のコンクリート養生面。</li> <li>・余剰散水を防ぎたい場合。</li> <li>・現場が広く、散水管理を確実にしたい場合</li> </ul> <p>※養生面がコンクリートの打継面で鉄筋が多数突き出ている箇所や傾斜勾配10%以上の箇所は適用外。また凍結の恐れがあるため、最低気温が0度を下回る際は散水しないこと。</p> <p>5. 活用実績</p> <table border="0"> <tr> <td>国の機関</td> <td>69件</td> <td>(九州 15件、九州以外 54件)</td> </tr> <tr> <td>自治体</td> <td>42件</td> <td>(九州 10件、九州以外 32件)</td> </tr> <tr> <td>民間</td> <td>13件</td> <td>(九州 2件、九州以外 11件)</td> </tr> </table>			国の機関	69件	(九州 15件、九州以外 54件)	自治体	42件	(九州 10件、九州以外 32件)	民間	13件	(九州 2件、九州以外 11件)
国の機関	69件	(九州 15件、九州以外 54件)										
自治体	42件	(九州 10件、九州以外 32件)										
民間	13件	(九州 2件、九州以外 11件)										

6. 写真・図・表

〈コンマット1号-A 設置状況〉



〈本製品特長〉



コンマット1号の不織布の中間層に幅8cmの吸水変色シートを縫製した新タイプの吸水変色型養生マットです。

★散水タイミングの“見える化”

吸水変色シートの変色により保水状態を目視で管理出来ます。吸水すると変色シートが白色から青色に変色し、乾燥すると元の白色に戻ります。

★繰り返し利用可能な為経済的

★散水量の低減化

散水タイミングが解り易くなりますので、散水量の低減につながります。

●コンマット1号-Aの変色状況



▲乾燥時の状態



▲湿潤時の状態